

緊急避妊薬を学ぶ研修会

“風雲急を告げる”の如く、緊急避妊薬(ECP)をどのように薬局薬剤師が取り扱うのか、その服薬指導において服薬指導のほかにすべきことにどのように対応するのか、今、薬剤師がその資質をECPを事例として問われています。たかがされどのECPであります。多くの産婦人科医師が、今までのHRT〔ホルモン補充療法〕OC(経口避妊薬)、LEPなどの服薬指導の内容を患者から聞いてきた経験=実体験=からも、薬剤師が婦人科領域の女性ホルモンに関わる服薬指導が苦手であり、時に産婦人科医師の意図とはそぐわぬことを患者に説明する経験を持ち、その背景をもって「薬剤師に緊急避妊ピルの説明ができると思えない」という意見が出されています。女性医療に深く携わる講師宮原富士子にとっても、苦い経験があります。最近になりOATHAS(女性の健康サポートができる薬剤師養成プログラム)などの普及につれ、そのことに理解がある薬剤師が増えてきていることは大変喜ばしいことです。緊急避妊薬の話題は2020年オリンピックに向けての準備の一環としても重要ですが、今現在スポーツファーマシストの中でドーピング以外の領域に専門を持つ薬剤師はまだ少ないのが現状です。

そこで、今回東京にて有志を対象に試みとして遠藤敦氏と宮原富士子協働発案によりスポーツファーマシストが緊急避妊薬に詳しくなるための講話会+談義食事会を開催することといたしました。ぜひご参加いただければ幸いです

~~令和2年2月27日(木) | 19:15~21:00(開場19時)~~

場所: ウェルス幸手(幸手市天神島 1030-1) **中止になりました。**

緊急避妊ピル

～日本の現状、入手方法、服薬指導、産婦人科医師との連携～

講師: NPO法人HAP 理事長 宮原富士子(日本女性医学学会認定薬剤師)

参加費用: 無料

定員: 70名 【薬剤師研修認定単位1単位(申請中)】

主催: 特定非営利活動法人Healthy Aging Projects for Women (NPO法人HAP)

共催: 幸手薬剤師会

※日本薬剤師研修センター研修受講シールをご希望の方は、申込書に薬剤師免許番号を記載願います。なお氏名・薬剤師免許番号を含む受講者名簿は、公益財団法人日本薬剤師研修センターに報告いたしますので、あらかじめご了承ください。



緊急避妊薬を学ぶ研修会

参加申込書

ふりがな	
お名前	
ご所属	該当に○ 薬剤師（薬剤師免許番号： <input type="text"/> ） 看護師、ケアマネージャー、保健師等、 医師、歯科医師 その他（ <input type="text"/> ）
住所	〒 <input type="text"/>
Tel	<input type="text"/>
Fax	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
参加人数	<input type="text"/> 人（複数の場合はご氏名連記お願いします）

この情報は HAP ご案内以外使用しません

ウエルス幸手
幸手市天神島 1030-1

